

下関市教育委員会
議案第52号

工事請負契約締結について
上記の議案を提出する。

令和3年8月25日

下関市教育委員会
教育長 児玉 典彦

工事請負契約締結について
菊川中学校体育館新築建築主体工事につき、下記のとおり請負契約を締結する。

記

1 契約の相手方

工事請負人	下関市豊浦町大字川棚6938番地1 寺内建設・貴船建設菊川中学校体育館新築建築主体工事共同企業体
代表者	株式会社寺内建設 代表取締役 寺内 雅之
構成員	下関市上田中町二丁目22番7号 貴船建設株式会社 代表取締役 貴船 純次

2 工事名 菊川中学校体育館新築建築主体工事

3 請負代金額 235,400,000円

4 工事場所 下関市菊川町大字下岡枝字上室屋1番地2

提案理由

菊川中学校体育館新築建築主体工事の請負契約締結について、令和3年第3回定例市議会に議案として提出するため。

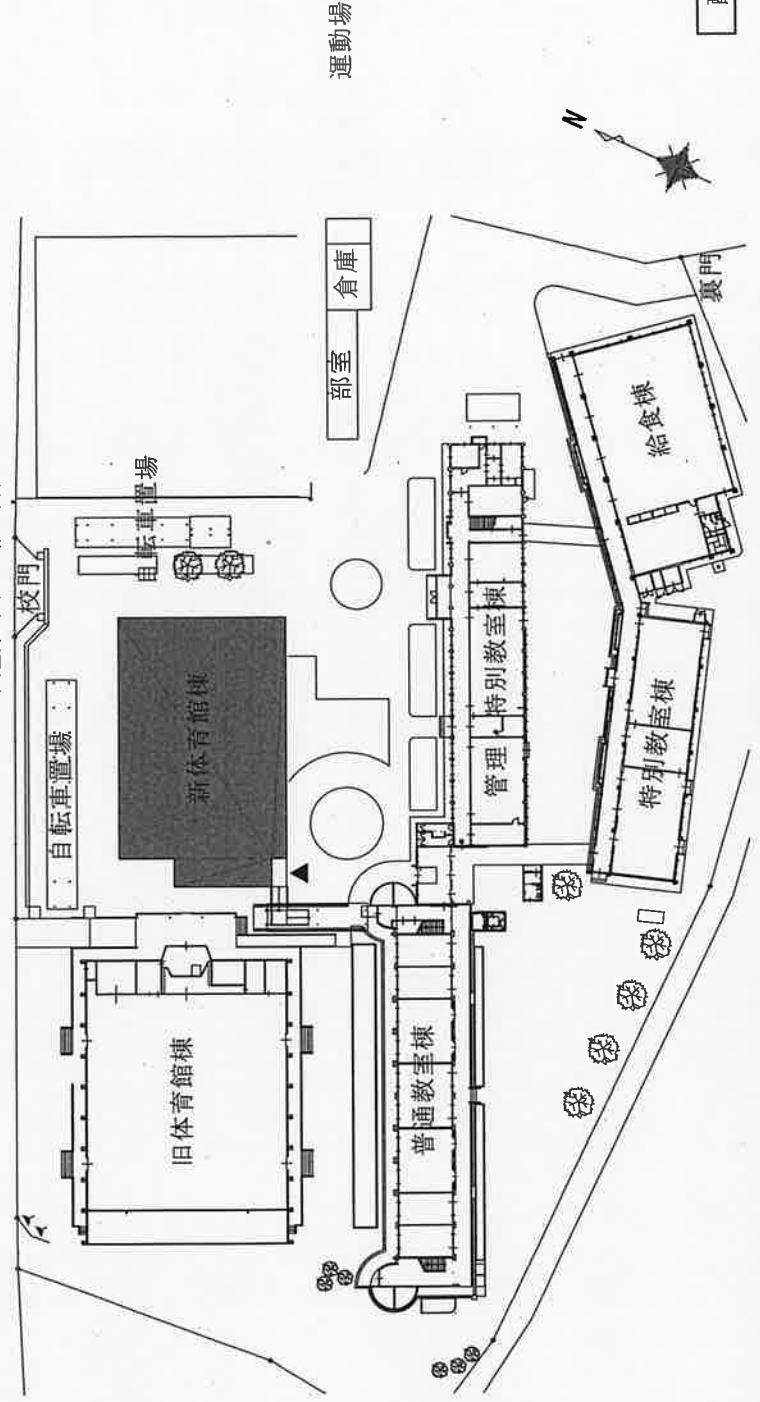
菊川中学校体育館新築建築主体工事



工事概要

工事場所	： 下関市菊川町大字下岡枝字上室屋1番地2
用途地域	： 指定なし
敷地面積	： 27,575.74㎡
建築面積	： 840.13㎡
延べ床面積	： 830.74㎡
構造	： 鉄骨造 平屋建
最高高さ	： 12.17m
工期	： 着手 市議会議決後5日以内 完成 令和4年6月30日

市道荒小田～檜崎線



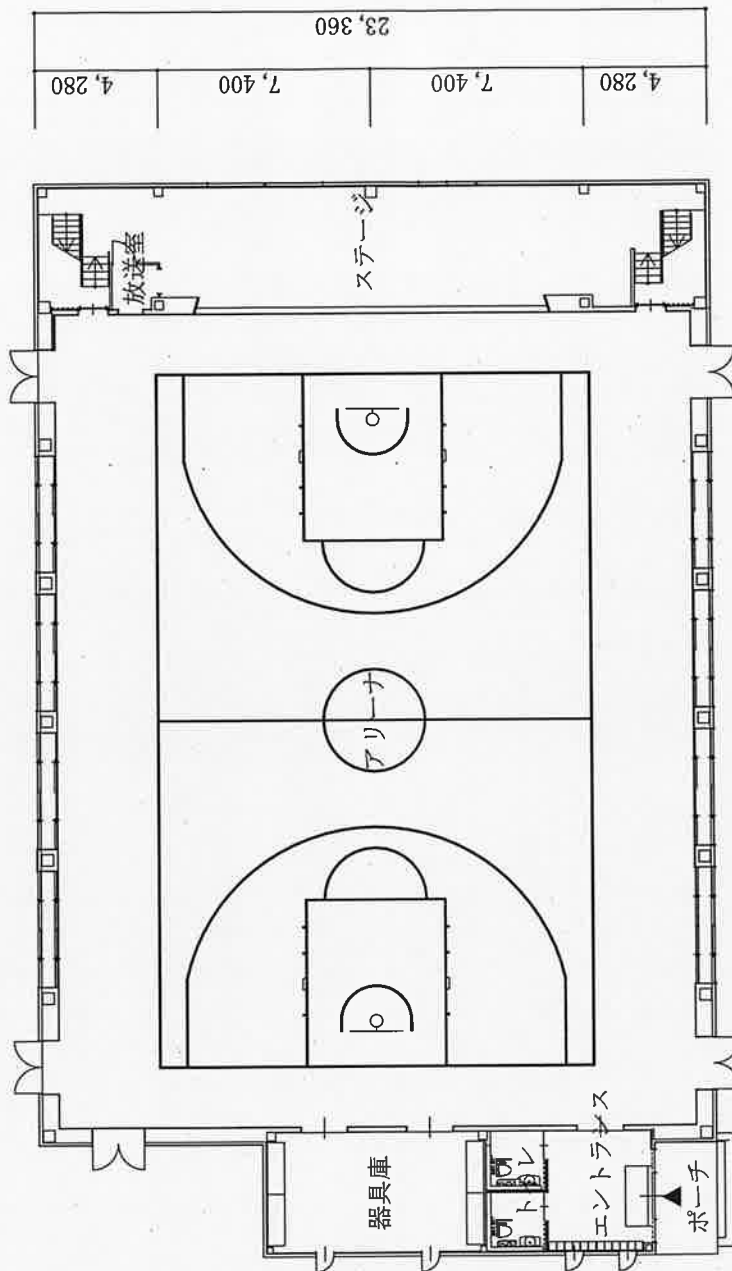
配置図



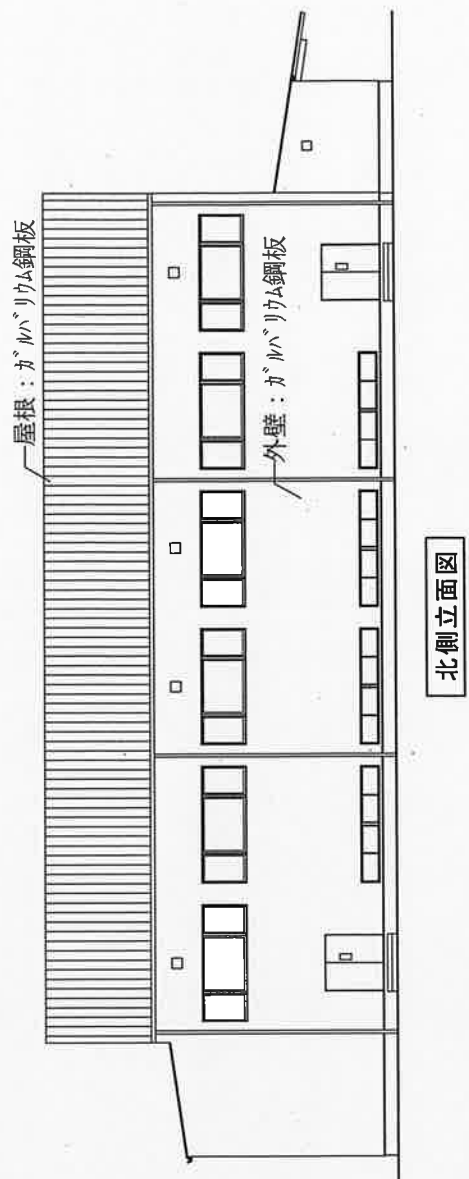
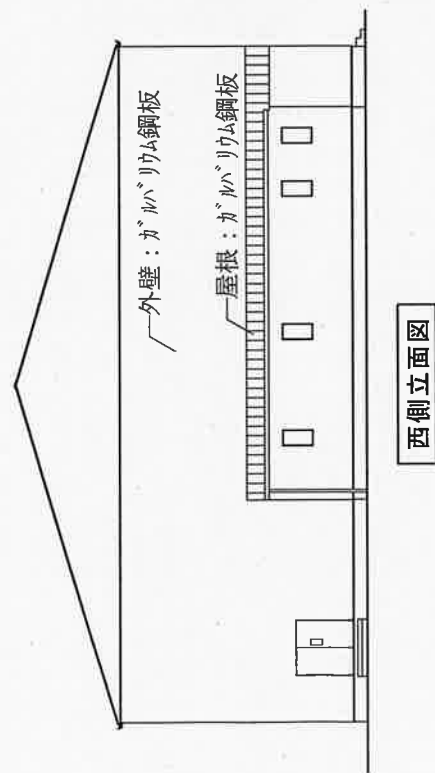
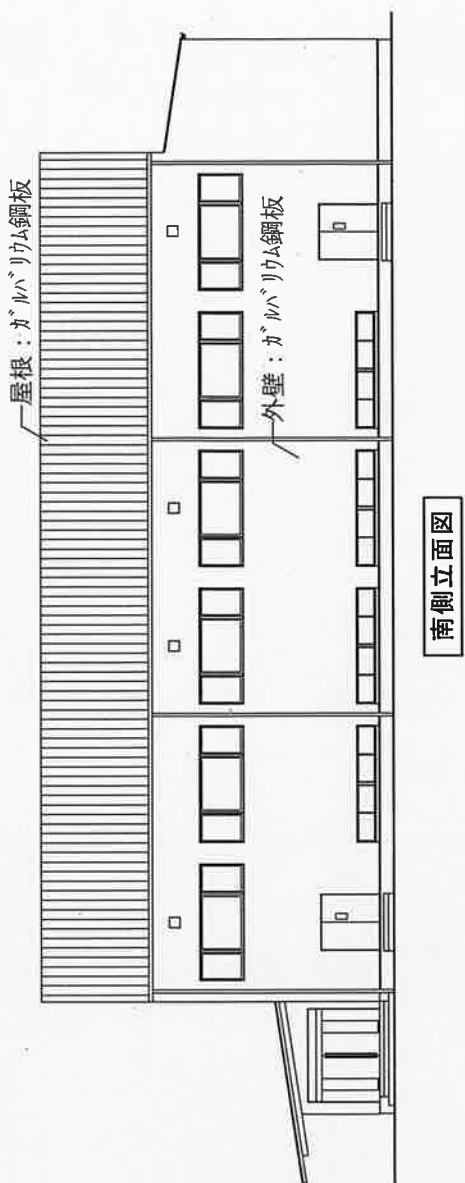
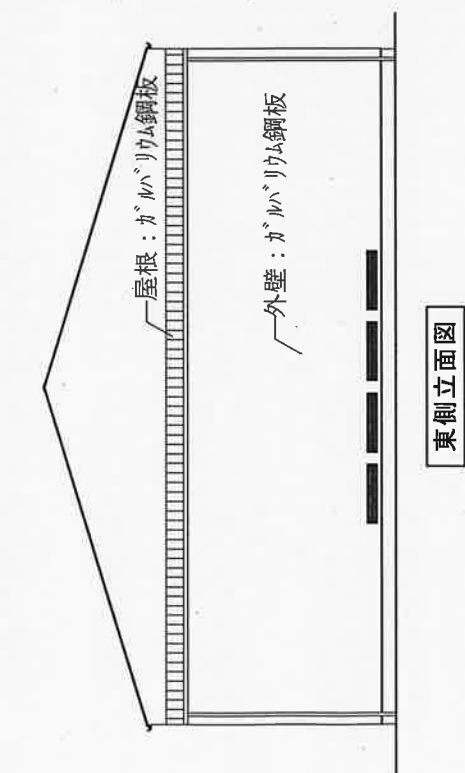
37,210

3,900	5,080	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,230
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

13,490	3,700	2,200	7,590
--------	-------	-------	-------



1 階平面図



報 告 事 項
令 和 3 年 8 月 2 5 日
教 育 政 策 課

令和 2 年度決算について

令和 2 年度教育委員会の所管に係る教育費の決算について、別紙のとおり報告いたします。

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率 (%)	主な事業等
教育費 (大学費及びスポーツ振興課所管分を除く)	教育費		9,660,431,000	8,676,865,247	158,836,920	824,728,833	89.82	
	教育総務費		1,109,237,000	985,542,561	19,500,000	104,194,439	88.85	
		教育委員会費	20,238,000	19,456,730	0	781,270	96.14	教育長及び教育委員の person 費等
		事務局費	1,088,999,000	966,085,831	19,500,000	103,413,169	88.71	教育政策課・学校教育課・教育研修課・学校支援課等の person 費 適正規模・適正配置事業、私学振興、教職員技術指導研修、生徒指導推進業 務、学力向上推進事業、コミュニティ・スクール推進事業、「子ども安心メー ル」の配信等
小学校費	小学校費		3,052,437,000	2,664,029,971	66,444,000	321,963,029	87.28	
		学校管理費	1,165,230,000	1,098,308,250	27,000,000	39,921,750	94.26	小学校に勤務する職員の person 費及び管理運営費
		教育振興費	1,849,763,000	1,565,721,721	2,000,000	282,041,279	84.64	特別活動推進業務、教材整備推進業務、就学援助、 特別支援学級設備整備業務、遠距離通学費補助業務、 コンピューター整備事業等
		学校建設費	37,444,000	0	37,444,000	0	0.00	
中学校費	中学校費		1,515,947,000	1,275,910,804	42,077,000	197,959,196	84.17	
		学校管理費	502,505,000	477,160,472	0	25,344,528	94.96	中学校に勤務する職員の person 費及び管理運営費
		教育振興費	950,365,000	782,935,632	1,000,000	166,429,368	82.38	特別活動推進業務、教材整備推進業務、就学援助、 特別支援学級設備整備業務、遠距離通学費補助業務、 コンピューター整備事業等
		学校建設費	63,077,000	15,814,700	41,077,000	6,185,300	25.07	中学校の施設整備 長寿化事業、屋内運動場整備事業
高等学校費	高等学校費		651,535,000	603,105,445	11,774,926	36,654,629	92.57	
		高等学校総務費	466,536,510	455,038,578	0	11,497,932	97.54	下関商業高等学校に勤務する教職員の person 費等
		高等学校管理費	63,926,490	52,243,364	0	11,683,126	81.72	下関商業高等学校の管理運営、施設整備
		教育振興費	121,072,000	95,823,503	11,774,926	13,473,571	79.15	1人1台端末の整備、校内LAN整備工事等

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率 (%)	主な事業等
社会教育費	社会教育総務費	社会教育費	1,865,661,000	1,782,281,472	2,040,994	81,338,534	95.53	生涯学習課・文化財保護課・中央図書館・美術館・歴史博物館等の人件費 生涯学習推進業務 下関市生涯学習まちづくり出前講座、関門海峡・温故知新塾、市民文化セミナー 公民館学級 社会教育団体育成
			657,022,000	640,497,753	0	16,524,247	97.48	青少年健全育成業務 成人の日記念(R2中止)、少年指導者研修、青少年団体育成等 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 学校支援地域本部、放課後子供教室 青年の家の管理運営
		青少年対策費	45,450,000	41,095,938	2,040,994	2,313,068	90.42	旧下関英国領事館管理運営事業 史跡前田砲台跡保存整備事業 運蔵文化財分布調査及び発掘調査業務 文化財愛護普及業務
		文化財保護費	99,281,000	89,055,178	0	10,225,822	89.70	中央館(1館)地域館(5館1室)の運営管理 リクエスト受付、各種行事開催等による図書館利用の普及促進 調べ学習、読み聞かせ等のための小・中学校貸出図書の整備・充実
		公民館費	154,330,000	142,555,888	0	11,774,112	92.37	歴史博物館の管理運営 東行記念館の管理運営 考古博物館の管理運営 鳥山民俗資料館の管理運営 人類学ミュージアムの管理運営 豊北歴史民俗資料館の管理運営 豊田ホテルの里ミュージアムの管理運営
		図書館費	296,768,000	289,783,506	0	6,984,494	97.65	美術館の管理運営 展覧会開催
		博物館費	275,214,000	257,619,457	0	17,594,543	93.61	ふれあいセンター(豊浦・宇賀・小野)・学習会館(芝・串)の管理運営 豊田及び豊北生涯学習センターの管理運営 菊川ふれあい会館の管理運営 生涯学習プラザの管理運営
		美術館費	114,513,000	109,392,334	0	5,120,666	95.53	
		生涯学習施設費	223,083,000	212,281,418	0	10,801,582	95.16	
保健体育費	保健体育総務費	保健体育費	1,465,614,000	1,365,994,994	17,000,000	82,619,006	93.20	学校保健給食課・学校給食調理員の人件費 学校保健管理業務、学校給食管理業務等 給食施設・設備の管理運営、就学援助(給食費、医療費) 民間委託(豊浦町、豊北町の単独調理校)
		体育振興費	7,891,000	3,942,000	0	3,949,000	49.96	学校体育振興育成業務 小学校体育連盟、中学校体育連盟
		学校給食共同調理場費	666,870,586	627,828,104	0	39,042,482	94.15	南部・中部・豊田町・豊浦町・黒井・滝部中学校給食共同調理場の管理運営経費 民間委託(南部・中部・豊田・豊浦・黒井・滝部中学校給食共同調理場)

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率 (%)	主な事業等
災害復旧費	災害復旧費		5,000,000	2,893,000	0	2,107,000	57.86	
	その他公共施設公用施設災害復旧費		5,000,000	2,893,000	0	2,107,000	57.86	
	教育施設災害復旧費		5,000,000	2,893,000	0	2,107,000	57.86	豪雨災害に伴う復旧事業（渡り廊下改修、駐輪場屋根改修）

令和2年度決算

教育委員会の主要な施策の成果について

No.	事業名	所管課	予算区分
1	事業継続支援金	文化財保護課	9月
2	新生活様式支援金	文化財保護課	9月
3	公共施設に係る新型コロナウイルス感染症対策事業	生涯学習課、文化財保護課 中央図書館、美術館	7月、9月
4	G I G Aスクール構想推進事業（小中学校）	教育政策課、教育研修課、学校支援課	当初、6月、7月、9月、R1.3月
5	学校再開に伴う感染症対策・学習保障事業	学校支援課、下関商業高等学校	7月
6	G I G Aスクール構想推進事業（下関商業高校）	下関商業高等学校	6月、R1.3月
7	学校衛生環境確保事業	学校保健給食課	6月
8	学校給食無償化事業	学校保健給食課	6月
9	学校給食事業者支援事業	学校保健給食課	6月、7月
10	特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	当初
11	プログラミング教育推進事業	教育研修課	当初
12	適正規模・適正配置事業	教育政策課	9月
13	小・中学校洋式トイレ整備事業	学校支援課	当初
14	小・中学校体育館照明LED化事業	学校支援課	当初
15	小・中学校教育環境整備事業（ミスト扇風機）	学校支援課	当初
16	菊川中学校体育館建替事業	学校支援課	当初
17	小・中学校メンテナンス推進事業（長寿命化）	学校支援課	当初
18	考古博物館体験学習推進事業	文化財保護課	当初
19	美術作品修復事業	美術館	当初
20	フッ化物洗口事業	学校保健給食課	当初

様式2（ハード事業・その他）

事業名	事業継続支援金				
予算区分	一般会計				
総合計画の体系					
担当課名		開始年度	令和2年度	決算書	

1 事業の概要・取組

概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対応等の影響を受ける指定管理者に対して、事業継続の支援を行うもの。
令和2年度の主な取組	利用料金が減収した指定管理施設の事業継続を支援するため、休業等からの事業再開後の事業継続性を確保するための「事業継続支援金」を交付。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	35施設に対して、総額222,600,000円の事業継続支援金を交付。
今後の展開	引き続き、指定管理者との連携を図り、施設の魅力向上と利用者ニーズに沿った施設運営に努める。

3 施設の概要、計画等

(単位:円)						
会計	款	部	所管課	対象施設	予算額	決算額
一般会計	民生費	福祉部	福祉政策課	きくがわ温泉華陽	7,800,000	2,300,000
			長寿支援課	豊浦老人福祉センター	600,000	600,000
				満珠荘	18,900,000	17,100,000
	衛生費	環境部	環境施設課	リサイクルプラザ	300,000	300,000
	農林水産業費	農林水産振興部	農業振興課	豊田農業公園	1,000,000	1,000,000
			農林水産整備課	深坂自然の森	200,000	200,000
				森の家下関	600,000	600,000
	商工費	観光スポーツ文化部	観光施設課	火の山ユースホステル	7,300,000	7,300,000
				川棚温泉交流センター	100,000	0
				菊川総合交流ターミナル	3,300,000	1,100,000
				道の駅北浦街道豊北	16,800,000	16,800,000
				角島サイクルポート	100,000	0
				道の駅螢街道西ノ市	29,600,000	29,600,000
				豊田湖畔公園	6,700,000	6,700,000
				海峡ビューしものせき	112,400,000	106,200,000
				サングリーン菊川	36,100,000	29,600,000
	土木費	都市整備部	交通対策課	下関駅南自転車駐車場	300,000	300,000
				下関駅北自転車駐車場	1,600,000	1,600,000
	教育費	観光スポーツ文化部	スポーツ振興課	下関市内体育施設(13か所)	11,000,000	0
				下関北運動公園内体育施設	2,400,000	1,100,000
				菊川体育施設	1,000,000	200,000
				菊川温泉プール	3,800,000	0
		教育委員会	文化財保護課	旧下関英国領事館	100,000	0
合 計					262,000,000	222,600,000

様式2（ハード事業・その他）

事業名	新生活様式支援金				
予算区分	一般会計				
総合計画の体系					
担当課名		開始年度	令和2年度	決算書	

1 事業の概要・取組

概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対応等の影響を受ける指定管理者に対して、感染症対策の取組を進めるもの。
令和2年度の主な取組	サーマルカメラ導入、空気清浄機設置、感染予防のための消耗品の購入等、3密を回避するための施設改修や脱コロナに向けた取組を行うため、「新生活様式支援金」を交付。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	23施設に対して、総額8,671,262円の新生活様式支援金を交付。
今後の展開	引き続き、指定管理者と連携した感染症対策を行い、安心して施設を利用できるように努める。

3 施設の概要、計画等

(単位：円)						
会計	款	部局	課	対象施設	予算額	決算額
一般会計	民生費	福祉部	福祉政策課	きくがわ温泉華陽	500,000	464,520
	衛生費	環境部	環境施設課	リサイクルプラザ	500,000	500,000
	農林水産業費	農林水産振興部	農業振興課	豊田農業公園	500,000	500,000
				旧殿居小学校維新分校	100,000	100,000
			農林水産整備課	深坂自然の森	200,000	198,000
				林業総合センター	100,000	97,800
	教育費	観光スポーツ文化部	スポーツ振興課	下関市内体育施設（13か所）	6,500,000	4,996,044
				下関北運動公園内体育施設	1,500,000	394,978
				菊川体育施設	500,000	500,000
				菊川温泉プール	500,000	464,520
		教育委員会	文化財保護課	旧下関英国領事館	460,000	455,400
合 計					11,360,000	8,671,262

様式2 (ハード事業・その他)

事業名	公共施設に係る新型コロナウイルス感染症対策事業				
予算区分	一般会計、観光施設事業特別会計				
総合計画の体系					
担当課名		開始年度	令和2年度	決算書	

1 事業の概要・取組

概要	感染拡大を予防する「新しい生活様式」に対応するため、新型コロナウイルス感染症の感染及び感染拡大のリスクを可能な限り低減するための対策を講じる。
令和2年度の主な取組	・ A Iサーマルカメラ、空気清浄機、サーキュレーター等の設置 ・ 感染予防のための消耗品の配備 ・ トイレ設備の整備

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	98施設に対して感染予防を図り、利用者の利便性の向上を図った。
今後の展開	引き続き感染症対策を行い、安心して施設を利用できるように努める。

3 施設の概要、計画等

会計	款	部局	課	対象施設	予算額	決算額	
一般会計	民生費	福祉部	長寿支援課	高齢者福祉施設	老人憩の家14か所、ふれあいプラザ2か所 老人福祉センター、多世代交流センター 日野温泉いこいの家	200,000	199,782
	商工費	観光スポーツ文化部	観光施設課	観光施設	海響館、下関フィッシングパーク 長府庭園、長府毛利邸、ヘルシーランド下関 旧秋田商会ビル、火の山パークウェイ 火の山ユースホステル、園芸センター 道の駅きくがわ、道の駅豊田西ノ市 豊田湖畔公園、川棚温泉交流センター 道の駅北浦街道豊北、角島サイクルポート つのしま自然館、ギャラリー館	14,128,000	13,396,680
		観光スポーツ文化部	スポーツ振興課	体育施設等	セービング陸上競技場 オーヴィジョンスタジアム下関 下関市体育館、長府武道館 豊浦体育センター、夢が丘スポーツセンター 夢ヶ丘公園、豊田武道館 豊北体育センター、豊北総合運動公園	7,600,000	3,870,694
	教育費	教育委員会	生涯学習課 文化財保護課 中央図書館 美術館	公民館等	市内公民館34か所、生涯学習プラザ 豊田生涯学習センター 豊北生涯学習センター 菊川ふれあい会館、豊浦ふれあいセンター 小野ふれあいセンター 宇賀ふれあいセンター 考古博物館 東行記念館、人類学ミュージアム 豊北歴史民俗資料館 豊田ホテルの里ミュージアム 歴史博物館、中央図書館、美術館	6,980,000	5,255,863
	観光特会	観光スポーツ文化部	観光施設課	観光施設	海峡ビューしものせき 火の山ロープウェイ サングリーン菊川	2,692,000	1,854,259
合 計					31,600,000	24,577,278	

事業名	G I G Aスクール構想推進事業 (小中学校)				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費 / 小学校費 教育振興費 / 中学校費 教育振興費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	教育政策課、教育研修課、学校支援課	開始年度	令和元年度	決算書	171頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	国の「G I G Aスクール構想」及び教育のI C T化に向けた環境整備5箇年計画における目標水準の達成に向け、I C T教育環境を整備する。
令和2年度の主な取組	小学1年生から中学3年生までの児童生徒及びその指導者に1人1台のタブレット端末や普通教室への大型提示装置を整備するとともに、高速大容量のネットワーク環境(校内L A N)、緊急時オンライン学習のためのモバイルルータ、教師用端末に導入するデジタル教科書及び児童生徒用端末に導入するデジタル教材を整備した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	小学1年生から中学3年生までの児童生徒及びその指導者に1人1台のタブレット端末や大型提示装置等の整備を行い、校内L A N、I C T教育の充実及び緊急時のオンライン学習環境の整備を図った。
今後の展開	学校のI C T環境整備が進み、端末等のI C T機器活用が始まっている。今後も、継続した研修支援を行うことによりI C T教育の充実を図っていく。

3 施設の概要、計画等

1 校内通信ネットワーク整備	小学校41校、中学校22校における校内通信ネットワークの整備 ・L A Nケーブルは10Gbps対応(カテゴリ6A以上) ・ネットワーク機器は1Gbps対応(ハブやルータ、スイッチ類) ・コンピュータの充電・保管のための電源キャビネットを整備
2 端末等整備	・児童生徒端末 . . . 1人1台整備 ・指導者用端末 . . . 1人1台整備 ・大型提示装置 . . . 普通教室へ整備 ・モバイルルータ . . . 緊急時オンライン学習のための貸出用機器の購入
3 デジタル教材導入	・デジタル教科書は学校ライセンスとして整備(※使用期限は教科書改訂まで) ・デジタルドリル教材は全児童生徒数分のアカウントを取得(※使用期限は令和3年度末まで)

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			2,210,088,189	1,826,962,885	3,000,000	380,125,304
主要な経費	委託料		254,577,750	224,631,000		29,946,750
	備品購入費		978,817,189	970,653,530		8,163,659
	工事請負費		885,000,000	587,178,900		297,821,100
財源	国庫・県支出金		1,459,973,000	1,467,506,000	3,000,000	
	市債		443,300,000	292,200,000		
	その他特定財源 (基金繰入金)		200,000,000			
	一般財源		106,815,189	67,256,885		

事業名	学校再開に伴う感染症対策・学習保障事業				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費 / 高等学校費 高等学校管理費 / 高等学校費 教育振興費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課 下関商業高等学校	開始年度	令和2年度	決算書	171頁～176頁

1 事業の概要・取組

概要	小・中・高等学校が学校再開に際して、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障をするために必要となる整備を行うもの。
令和2年度の主な取組	感染症対策に必要となる保健衛生用品及び3密対策用品の配備や分散授業に必要となる教材等を整備した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	配備学校数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R3年度)
目標値(校)			67	66	66
実績値(校)			67		
達成率(%)			100.0%		
評価(A～D)			B		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	感染症対策に必要となる保健衛生用品及び3密対策用品の配備や分散授業に必要となる教材等を整備したことにより、感染症対策を徹底し児童生徒の学習保障を行うことができた。
今後の展開	今後も引き続き、保健衛生用品及び3密対策用品を配備し、感染症対策を徹底していく。

4 参考情報

--

5 決算情報

(単位:円)

年 度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			68,500,000	65,856,931		2,643,069
主 要 な 経 費	消耗品費		45,891,998	45,120,383		771,615
	備品購入費		22,608,002	20,736,548		1,871,454
財 源	国庫・県支出金		68,500,000	65,848,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			8,931		

事業名	G I G A スクール構想推進事業 (下関商業高校)				
予算区分	一般会計 教育費 高等学校費 教育振興費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	下関商業高等学校	開始年度	令和元年度	決算書	175頁～176頁

1 事業の概要・取組

概要	「G I G A スクール構想の加速による学びの保障」の早期実現を図るため、下関商業高等学校における高速大容量のネットワーク環境 (校内LAN) 及び1人1台端末、大型提示装置、電源キャビネットを整備する。
令和2年度の主な取組	下関商業高等学校における高速大容量のネットワーク環境 (校内LAN) 及び1人1台端末、大型提示装置、電源キャビネットを整備した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	下関商業高等学校における高速大容量のネットワーク環境 (校内LAN) 及び1人1台端末、大型提示装置、電源キャビネットを整備した。
今後の展開	整備した生徒1人1台端末等について、授業で日常的に活用していく。

3 施設の概要、計画等

1 校内通信ネットワーク整備
下関商業高等学校における校内通信ネットワークの整備。
・LANケーブルは10Gbps対応 (カテゴリ6A以上)
・ネットワーク機器は1Gbps対応 (ハブやルータ、スイッチ類)

2 端末等整備
下関商業高等学校における1人1台端末等を整備した。
・生徒用端末・・・1人1台整備
・指導者用端末・・・1人1台整備
・大型提示装置・・・普通教室へ整備
・電源キャビネット・・・全日制普通教室及び職員室へ整備

4 決算情報 (単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			92,734,000	70,309,074	11,274,926	11,150,000
主要な経費	消耗品費		4,423,100	3,519,824	903,276	
	備品購入費		56,740,900	51,939,250	4,801,650	
	工事請負費		26,000,000	14,850,000		11,150,000
財源	国庫・県支出金		79,734,000	62,416,000	11,274,926	
	市債		13,000,000	7,400,000		
	その他特定財源					
	一般財源			493,074		

事業名	学校衛生環境確保事業				
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 保健体育総務費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和2年度	決算書	179頁～180頁

1 事業の概要・取組

概要	学校で行う定期健康診断等において、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク等を用意し、児童生徒及び学校医の安全確保に努める。 また、消毒液等を確保し、各校に配付することで、施設の定期的な消毒を行い、校内の衛生環境を維持する。
令和2年度の主な取組	定期健康診断等を安全に実施するため、感染症対策物品を調達し、各校に配布した。 また、学校施設の日常清掃及び陽性者が発生した場合の消毒のため、消毒液等を調達し、各校に配布した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	児童生徒の定期健康診断受診率				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%
実績値(%)	98.9%	98.9%	98.5%		
達成率(%)	100.0%	100.0%	99.6%		
評価(A～D)	B	B	B		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、児童生徒の出席停止措置等の理由により目標値を下回った。
今後の展開	新型コロナウイルス感染症等の感染対策を万全に行い、児童生徒及び学校医の安全確保及び学校施設の清潔維持に努める。

4 参考情報

○R2定期健康診断受診児童・生徒数(内科)17,777人(歯科)17,464人 学校医数268人
○R2就学時健康診断受診者数(内科)1,834人(歯科)1,834人
○校内の衛生環境の維持…扉の取っ手や階段の手すりなどを定期的に消毒する。

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		1,483,572	7,693,203	6,975,565		717,638
主要な経費	感染症対策用消耗品等		4,000,000	3,964,097		35,903
	学校保健管理用消耗品等	1,483,572	3,693,203	3,011,468		681,735
財源	国庫・県支出金		2,000,000	1,982,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,483,572	5,693,203	4,993,565		

事業名	学校給食無償化事業				
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 保健体育総務費／学校給食共同調理場費				
総合計画の体系	第3章 第1節 子ども・子育て支援の充実				
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和2年度	決算書	179頁～182頁

1 事業の概要・取組

概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている小・中学生の保護者世帯の生活を支援するため、令和2年度1学期の市立小・中学校の給食費を無償化する。
令和2年度の主な取組	新型コロナウイルス感染症の影響により、5月13日まで学校休業 5月14日～ 学校再開 5月21日～ 給食開始 5月21日～7月30日(49日)の給食費を無償化

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	無償化に係る児童・生徒の食数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R2年度)
目標値(食)			769,000		769,000
実績値(食)			859,968		
達成率(%)			111.8%		
評価(A～D)			A		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	当初は5月21日～7月20日(43日)の予定だったが、夏期休業短縮に伴い、7月30日までの49日間の給食費無償化を実施した。
今後の展開	令和2年度のための単年度事業として実施。

4 参考情報

学校給食無償化分 237,508千円
(内訳) 私会計分 154,807千円
公会計分 82,701千円

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		682,372,235	899,620,000	857,803,709		41,816,291
主要な経費	消耗品費	13,071,837	14,741,385	13,369,448		1,371,937
	光熱水費	45,444,791	56,142,074	44,876,372		11,265,702
	賄材料費	277,472,275	473,497,000	454,343,873		19,153,127
財源	国庫・県支出金			113,865,000		
	市債	32,000,000	35,200,000	40,800,000		
	その他特定財源 (基金繰入金、諸収入)	298,782,253	284,986,000	281,407,751		
	一般財源	351,589,982	579,434,000	421,730,958		

事業名	学校給食事業者支援事業				
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 保健体育総務費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和2年度	決算書	179頁～180頁

1 事業の概要・取組

概要	新型コロナウイルス感染症対策のための学校の臨時休業により、学校給食の中止が長期間にわたり、経営に大きな影響を受けている市内の学校給食用食材納入業者に対し、事業継続のための支援を実施する。また、パン・米飯と牛乳の製造販売業者に国庫補助制度を活用し支援を行う。
令和2年度の主な取組	・市内に事業所がある学校給食用食材納入業者に対して、売上に応じた給付金を支給した。 ・学校臨時休業期間中のパン・米飯と牛乳の加工賃相当額を製造販売業者に対して支給した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	支援を行う事業者数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R2年度)
目標値(社)			45		45
実績値(社)			31		
達成率(%)			68.9%		
評価(A～D)			D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	学校給食用食材納入業者及び学校給食用主食(パン・米飯)と牛乳の製造販売業者31事業者に対して給付金を支給した。売上が要件に満たない等で申請しない業者があったため、目標値を下回った。
今後の展開	令和2年度のための単年度事業として実施。

4 参考情報

売上が年1000万円以上 50万円 13事業者(パン・米飯、牛乳は50万円加算)
売上が年 100万円以上 10万円 18事業者

5 決算情報

(単位:円)

年 度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			24,500,000	20,115,492		4,384,508
主 要 な 経 費	給付金		24,500,000	20,115,492		4,384,508
財 源	国庫・県支出金		12,500,000	10,315,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		12,000,000	9,800,492		

事業名	特別支援教育支援員配置事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校教育課	開始年度	平成19年度	決算書	171頁～172頁

1 事業の概要・取組

概要	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を充実させ、きめ細かな教育を推進するため、障害のある児童生徒の就学支援体制の確立とともに、特別支援教育支援員の配置体制の充実を図る。
令和2年度の主な取組	障害のある児童生徒の発達の段階に応じた指導及び支援を行うため、小・中学校に特別支援教育支援員を30名増員配置した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	特別支援教育支援員1人あたりの特別支援学級在籍児童生徒数				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(人)	5.0	5.6	4.7	4.7	4.0
実績値(人)	5.0	5.6	4.7		
達成率(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
評価(A～D)	B	B	B		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	特別支援教育支援員を30名増員したことで、小・中学校において、重度の障害がある児童生徒の安全確保や多様な障害のある児童生徒の個々のニーズに応じたきめ細やかな支援が行われた。
今後の展開	現在の配置体制を維持しながら、特別支援教育支援員の資質向上を図り、すべての児童生徒にとって安全で落ち着いた学習環境を整えていく。

4 参考情報

令和2年度	特別支援学級在籍児童生徒数(A)	支援員数(B)	指標(A/B)
	小学校 480人 中学校 199人 合計 679人	143人	4.7

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		105,510,630	140,043,000	132,404,405		7,638,595
主要な経費	報酬	105,510,630	140,043,000	132,404,405		7,638,595
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		30,000,000	29,500,000		
	一般財源	105,510,630	110,043,000	102,904,405		

事業名	プログラミング教育推進事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	教育研修課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁～172頁

1 事業の概要・取組

概要	小学校において必修となるプログラミング教育の円滑な実施及び先進的な授業事例の創出を図る。プログラミング教育の充実により、情報技術への理解を図るとともに、論理的思考を育み未来社会の中で活躍できる人材、希望の街の実現に向けて地域社会に貢献できる人材を育成する。
令和2年度の主な取組	1 研究協力校によるプログラミング教育公開授業及び研究協議の開催 2 プログラミングロボットの活用 ・プログラミングロボットを活用した授業等の実施 ・下関工科高等学校と連携した授業等の実施 3 教員の指導力向上に係る研修の実施

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	プログラミングロボットを活用した取組を実施した学校の割合(全66校)				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R4年度)
目標値(%)		38	50	60	80
実績値(%)		33	40		
達成率(%)		86.8%	80.0%		
評価(A～D)		C	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
 C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	プログラミングロボットの貸出や高校と連携した取組を実施したが、令和2年度は、新型コロナウイルス流行の影響もあり、想定より取組実施校が伸びなかった。
今後の展開	令和2年度は主にプログラミング教育が必修とされる小学校を対象として貸出等を実施した。令和3年度以降は中学校も技術科においてプログラミング教育が導入されるため、中学校も対象として展開していきたい。

4 参考情報

1 研究協力校によるプログラミング教育公開授業及び研究協議の開催(参加者46名)
2 プログラミングロボットの貸出(小学校15校)工科高校と連携した授業等(実施11校)
3 教員の指導力向上に係る研修の実施(ICT活用推進研修会の参加者59名)

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			1,005,000	840,070		164,930
主要な経費	消耗品費		675,000	616,000		59,000
	備品購入費		330,000	224,070		105,930
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		1,000,000	800,000		
	一般財源		5,000	40,070		

事業名	適正規模・適正配置事業				
予算区分	一般会計 教育費 教育総務費 事務局費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	教育政策課	開始年度	平成21年度	決算書	171頁～172頁

1 事業の概要・取組

概要	少子化等により学校が小規模化する中、下関市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づき、学校統合等を進め、より良い教育環境を実現する。
令和2年度の主な取組	地元の合意が得られた豊田地区2校（豊田中小学校・西市小学校）の統合のため、物品移転、廃棄物処理、閉校記念式典開催等に係る事業を実施した。また、名陵中学校区3校による名陵学園開校のための合意形成等を行った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	学校統合に関する意見交換会				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(回)	5	5	5	5	5
実績値(回)	3	5	4		
達成率(%)	60.0%	100.0%	80.0%		
評価(A～D)	D	B	C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	豊田地区では、豊田中小学校と西市小学校を統合した。また、名陵中学校区3校による新しい学校づくりとして、令和4年4月に名陵学園を開校することとなった。
今後の展開	コロナ禍の影響により、計画した意見交換会を開催することができなかった。第3期目の基本計画においては、PTA役員など対象を絞って開催する等、開催方法を工夫し、学校統合に向けた合意形成を図っていく。

4 参考情報

・豊田中小学校と西市小学校を統合→令和3年4月 西市小学校
・名池小学校・王江小学校・名陵中学校による新しい学校づくり→令和4年4月 名陵学園(名陵小学校と名陵中学校、小中一貫教育校)

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		8,456,448	8,695,000	4,330,358		4,364,642
主要な経費	報酬	2,240,400	2,346,000	2,209,800		136,200
	消耗品費	3,970,868	364,000	126,720		237,280
	手数料、委託料	1,542,331	4,800,000	1,317,800		3,482,200
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,456,448	8,695,000	4,330,358		

事業名	小・中学校洋式トイレ整備事業				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	平成28年度	決算書	171頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	校舎の各フロアに1か所以上の洋式トイレ設置は平成30年度に完了したが、家庭環境と違う和式トイレに馴染めない児童生徒の不安解消や、肢体不自由等で支援を要する児童生徒に対応するため、更に洋式化を進める。
令和2年度の主な取組	多目的トイレのみのフロア等の更なる洋式化を実施した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	小学校18校、中学校6校の更なる洋式化を推進した。
今後の展開	今後は長寿命化改良事業及びトイレの大規模改修を行い洋式化を進めていく。

3 施設の概要、計画等

■事業スケジュール

年 度	整備内容	内訳
R2年度	1. 多目的トイレのみのフロアに男女1か所設置 2. 簡易ポータブル設置フロアの便器改修 3. 4クラス以上かつ100人以上のフロアの女子トイレに増設(1～2か所)	小学校19校 中学校10校
R3年度	小学校低学年のフロアに男女1か所増設	小学校44校
R4年度	4クラス以上かつ100人以上のフロアの女子トイレに増設(1か所)	小学校14校 中学校9校



※R2年度の事業効果を検証したのち、新たに計画を作成する。

4 決算情報

(単位:円)

年 度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			35,000,000	34,893,100		106,900
主要な経費	工事請負費		35,000,000	34,893,100		106,900
財 源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		35,000,000	34,000,000		
	一般財源			893,100		

事業名	小・中学校体育館照明LED化事業					
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費					
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上					
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁～174頁	

1 事業の概要・取組

概要	水俣条約に基づき、2021年以降水銀を使用した製品の製造、輸出、輸入が原則禁止となった。また、体育館の高天井照明器具の製造も中止となっているため、体育館の高天井照明器具のLED化を推進するもの。
令和2年度の主な取組	体育館照明のLED化に取り組んだ。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	小学校8校、中学校6校のLED化工事を行った。
今後の展開	令和6年度までに全ての小・中学校の体育館照明LED化を行う。

3 施設の概要、計画等

■対象施設及び事業内容

小学校33校、中学校19校の体育館高天井照明器具LED化工事

■スケジュール

(学校数)

	R2	R3	R4	R5	R6	計
小学校	8	5	7	7	6	33
中学校	6	4	3	2	4	19
計	14	9	10	9	10	52



4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			49,500,000	46,741,200		2,758,800
主要な経費	工事請負費		49,500,000	46,741,200		2,758,800
財源	国庫・県支出金					
	市債		44,500,000	42,000,000		
	その他特定財源					
	一般財源		5,000,000	4,741,200		

事業名	小・中学校教育環境整備事業（ミスト扇風機）				
予算区分	一般会計 教育費 小学校費 学校管理費 / 中学校費 学校管理費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	ミスト扇風機を各学校に配備し、熱中症事故の防止等、児童生徒の安全確保のための対策を講じるもの。
令和2年度の主な取組	ミスト扇風機の配備を希望する各小・中学校へミスト扇風機を配備した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	ミスト扇風機を配備したことにより、熱中症事故の防止等、児童生徒の安全確保のための対策を行った。
今後の展開	今後も熱中症事故防止対策の中でミスト扇風機を継続的に使用し、児童生徒の安全確保を図っていく。

3 施設の概要、計画等

■ 配備学校数と全体事業費

配備学校数 小・中学校53校（小学校33校、中学校20校）
 事業費 5,389千円（小学校3,485千円、中学校1,904千円）

■ 財源

ふるさとしものせき応援基金
 【活用分野】
 子どもの安全確保・健全育成等を目的とした、
 公園・児童施設等の環境整備のための費用



4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			10,000,000	5,389,399		4,610,601
主要な経費	備品購入費		10,000,000	5,389,399		4,610,601
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		10,000,000	5,300,000		
	一般財源			89,399		

事業名	菊川中学校体育館建替事業				
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	173頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	耐震二次診断・補強計画策定業務にて、高力ボルトの取替工事が必要となることが判明したため、新築建替と耐震補強工事のトータルコストを勘案すると新築建替のトータルコストが安価となることから、体育館の建替工事を実施するもの。
令和2年度の主な取組	建替工事に伴う地質調査・実施設計・構造計算を行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	実施設計等を完了し建替工事に向けた準備を行った。
今後の展開	令和3年度から2カ年で建替工事を行ったのち、令和4年度に解体工事を行う。

3 施設の概要、計画等

■施設の現況

現在：鉄骨造2階建 1,393.99㎡ S51竣工
 建替後：鉄骨造2階建 約800㎡

■事業スケジュールと全体事業費

(単位：千円)

項目	R2	R3	R4	合計
地質調査・構造計算委託	12,000			12,000
建替工事		31,000	233,000	264,000
解体工事			67,720	67,720
事務費		200	1,300	1,500
合計	12,000	31,200	302,020	345,220

【現況】



4 決算情報

(単位：円)

年 度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			12,000,000	8,235,700		3,764,300
主 要 な 経 費	委託料		12,000,000	8,235,700		3,764,300
財 源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		12,000,000	8,000,000		
	一般財源			235,700		

事業名	小・中学校メンテナンス推進事業（長寿命化）				
予算区分	一般会計 教育費 中学校費 学校建設費				
総合計画の体系	第3章 第3節 学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	173頁～174頁

1 事業の概要・取組

概要	小・中学校の老朽化した校舎等の施設の長寿命化を実施し、小・中学校の機能や性能を引き上げるための環境整備を行うことにより、安全・安心を確保するもの。
令和2年度の主な取組	構造体の劣化状況等の調査を行い、基本設計を行った。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	基本設計を完了し実施設計に向けた準備を行った。
今後の展開	令和3年度に実施設計を行ったのち、令和4年度に改修工事を行う。

3 施設の概要、計画等

■対象施設

建築後40年以上経過し、今後30年以上使用するもの。

構造体の劣化状況等の調査を行い、長寿命化改修ができるもの。

■工事内容

構造体の劣化改修、水道、電気、ガス管などのライフラインの更新など

■事業スケジュールと全体事業費（R2～ 勝山中学校 特別普通教室棟ほか）

（単位：千円）

項目	R2	R3	R4	R5	合計
長寿命化調査・設計	10,000	30,000	30,000	80,000	150,000
長寿命化工事			186,111	275,488	461,599
予防改修工事				199,618	199,618
合 計	10,000	30,000	216,111	555,106	811,217

4 決算情報

（単位：円）

年 度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			10,000,000	7,579,000		2,421,000
主要な経費	委託料		10,000,000	7,579,000		2,421,000
財 源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		10,000,000	7,000,000		
	一般財源			579,000		

事業名	考古博物館体験学習推進事業				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 博物館費				
総合計画の体系	第1章 第1節 文化・スポーツの振興 第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	文化財保護課	開始年度	令和2年度	決算書	177頁～178頁

1 事業の概要・取組

概要	2020年をユニバーサルミュージアム元年と位置付け、本市における人にやさしい魅力あるまちづくりの一環として、「五感に響く体験型博物館」への機能充実を図り、博物館活動のユニバーサルデザイン化と博福連携を推進する。
令和2年度の主な取組	・市内遺跡出土資料をモデルにパズル形式をはじめとする、視覚障がい者であっても触覚や知覚を駆使して利用可能な体験学習ツール等を開発した。 ・当博物館内に視覚障がい者用マット・点字案内板を設置した。 ・ホームページを使いやすく全面リニューアルした。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	考古博物館来館者のうち体験学習ツール利用者の割合				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)			50	50	50
実績値(%)			0		
達成率(%)			0.0%		
評価(A～D)			D		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	新型コロナウイルス感染予防のため、手で触れることを主体とする体験学習ツールの稼働を見合わせたことから、令和2年度の利用実績なし。
今後の展開	常設展示室にハンズオン展示コーナーを新設するとともに、新たな触察用土器模造品を製作し、さらなる充実を図る。ユニバーサルミュージアム推進のための調査研究として、ミュージアムエデュケーション研修へ参加する。

4 参考情報

事業の推進にあたり、総合支援学校や点字ボランティア団体に協力を依頼し、助言を受け意見交換を行った。

5 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			5,300,000	5,251,950		48,050
主要な経費	委託料		5,300,000	5,251,950		48,050
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		5,300,000	5,200,000		
	一般財源			51,950		

事業名	美術作品修復事業				
予算区分	一般会計 教育費 社会教育費 美術館費				
総合計画の体系	第3章 第5節 生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	美術館	開始年度	令和2年度	決算書	177頁～180頁

1 事業の概要・取組

概要	展示や外部の展覧会への貸出が困難を来している美術館の所蔵作品のなかから、とくに地域にゆかりの深い作者が制作した絵画を対象とし修復するもの。
令和2年度の主な取組	収蔵作品の点検、修復作品の選定及び処置方法等を決定のうえ、修復を委託し、年度末の所蔵品展にて修復された作品を陳列・公開した。

2 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	日本画7点、洋画7点の計14点を修復した。
今後の展開	美術館の収蔵品には、手当てが必要とされる作品が依然として少なくないことから、継続的な修復事業を検討する。

3 施設の概要、計画等

令和2年度の成果詳細：

日本画

- 1 狩野芳崖《林和靖》、2 狩野晴皐《春秋山水図》、
 3 狩野晴皐《観月図》、4 度会洞玉《群鶴図》、
 5 松林桂月《富嶽図》※表具のみ、6 高島北海《水墨山水図》、
 7 高島北海《秋山夕麗》

洋画

- 1 香月泰男《自転車》、2 香月泰男《霞草》、
 3 香月泰男《柿の枝に月》、4 殿敷 侃《は1》、
 5 殿敷 侃《ジュバン（釈妙昭信女B）》、6 古茂田守介《やさい》、
 7 藤田嗣治《猫を抱く少女》※額のみ



高島北海《秋山夕麗》(修復後)

4 決算情報

(単位:円)

年度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			2,000,000	1,999,800		200
主要な経費	美術作品修復		2,000,000	1,999,800		200
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		2,000,000	1,900,000		
	一般財源			99,800		

事業名	フッ化物洗口事業				
予算区分	一般会計 教育費 保健体育費 保健体育総務費				
総合計画の体系	第3章 第2節 一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和2年度	決算書	179頁～180頁

1 事業の概要・取組

概要	市立小学校の児童の口腔環境衛生のため、フッ化物水溶液を用いた洗口を行うもの。保護者負担を無償化し、学校でのパブリックケアの一つとして取り組むことで、家庭の経済状況等に左右されずに、児童のむし歯予防への効果が期待できる。
令和2年度の主な取組	当該事業は、令和元年度まで実施していたフッ素塗布にかわり、令和2年度より開始した事業であるが、令和2年9月より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の整った学校から順次実施し、市内全44小学校のうち43小学校が実施した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	学校でのフッ化物洗口実施率				
指標の数値	H30	R1	R2	R3	最終(R6年度)
目標値(%)			90.0%	90.0%	90.0%
実績値(%)			75.7%		
達成率(%)			84.1%		
評価(A～D)			C		

※評価基準(数値は達成率) A(110%以上)目標を上回る B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり
C(70%以上90%未満)目標を下回る D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和2年度の事業成果・今後の事業展開

令和2年度の成果	新型コロナウイルス感染症の影響があったため、目標値を下回ったものの、令和元年度のフッ素塗布の実施率(54.1%)を上回った。
今後の展開	むし歯予防における、フッ化物洗口の有効性・有益性等を保護者に周知・説明し、実施率を上げていく。

4 参考情報

○対象者：市立小学校の希望者 ○実施頻度：週1回 ○保護者負担：なし
○小学生のむし歯罹患率(令和元年度)
・下関市25.1% ・山口県24.8% ・全国21.7%

5 決算情報

(単位:円)

年 度		R1	R2			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事 業 費			5,300,000	4,104,381		1,195,619
主 要 な 経 費	医薬材料費		1,571,000	1,265,418		305,582
	委託料		1,307,000	1,306,800		200
	消耗品費等		2,422,000	1,532,163		889,837
財 源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源 (基金繰入金)		5,000,000	4,000,000		
	一般財源		300,000	104,381		